

社会情勢の変化・課題

- 知識基盤社会の到来
- グローバル化の進展
- ICTの発展
- 経済的格差の拡大
- 少子高齢化・人口減少

育てたい力

社会を生き抜く力

- ・知識・技能など基礎的な力とそれらを活用して課題を解決する力
- ・他と協働して課題に立ち向かうための実践力

高い志

- ・様々な課題に積極的に関わろうとする意欲
- ・世界へはばたく気概とふるさと秋田を支える自覚

学校づくり

- 生徒数減少にあっても人材育成を着実に進めるために高等学校の再編整備を推進
- 生徒が勉強やスポーツ等に打ち込むことのできる充実した教育環境の整備と活力に満ちた魅力ある学校づくりを推進

第七次計画の後半5年間の計画

- ・新学習指導要領
- ・人口減少・少子高齢化
- ・学校規模縮小
- ・地域に根ざした学校づくり

後期計画

H28年度

R3年度

R7年度

第七次秋田県高等学校総合整備計画

I 社会を生き抜く力と高い志を育てる教育活動の推進

1 生徒の社会的・職業的自立を目指し、社会に貢献する意識を高める取組の推進

- **確かな学力を育成し、生徒一人一人の能力・個性を伸ばす取組の推進**
 - カリキュラム・マネジメントに基づく教育課程の実施
 - 探究的な学習の充実
 - 多様な生徒に応じた教育の推進
 - 情報活用能力等を高める教育の推進
- **社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の推進**
 - キャリア教育の全体計画に基づいた教育活動の実践
 - インターンシップやボランティア活動等体験的な活動の更なる充実
 - 個に応じた進学・就職支援体制の充実
 - 主権者・消費者として求められる資質・能力の育成
- **主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりの推進**
 - 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
 - 学校全体で組織的・計画的に取り組む授業づくりの推進
 - キャリア教育を踏まえた学習指導の充実
- **教員の資質能力の向上を図る研修の推進**
 - キャリアステージに応じた研修の充実
 - 関係機関等と連携した実践的研修の充実
 - これからの高校教育を担う教員の資質能力の向上を図る研修の充実
 - 生徒一人一人にきめ細かに対応するための研修の充実

2 グローバルな視野に立って考え、行動できる人間を育成する取組の推進

- **国際教育と国際交流活動の推進**
 - 国際教育の推進
 - 継続的な国際交流活動の充実
- **グローバル化に対応した外国語教育の推進**
 - 英語コミュニケーション能力の向上を目指す取組の推進
 - 大学等との連携による外国語教育の充実
 - 英語以外の外国語の学習・活用の機会の充実

3 地域と学校が共に地域の将来を考え、連携・協働して取り組む教育活動の推進

- **地域の将来を担う人材を育成する教育の推進**
 - ふるさと秋田の発展に貢献しようとする意識を高める活動の充実
 - 地域を学習のフィールドとする探究的な学習の充実
 - 防災・安全教育の充実
 - 環境保全への意識の向上
- **地域の様々な教育資源の積極的な活用**
 - 地域や企業と連携した教育活動や就職支援の充実
 - 高校間連携及び小学校・中学校・特別支援学校との連携
 - 県内外の大学との連携
 - 関係機関との連携による、生徒への支援の強化と文化活動の充実

II 活力に満ちた魅力ある学校づくりの推進

1 全日制課程における学校規模の適正化と望ましい配置の実現

詳細は裏面

2 定時制課程・通信制課程の改善・充実

- **多様な学習ニーズに応える定時制課程・通信制課程の充実**
 - 生徒のニーズや社会の変化を踏まえた定時制課程の一層の改善・充実
 - 通信制課程の充実
 - フリースクールの空間（スペース・イオ）の充実
- **生徒一人一人の学びを支援し、自立を目指す教育活動の推進**
 - 個性を生かす指導の充実
 - キャリア教育の一層の充実
 - 「学び直し」の取組の充実
 - 特別な支援を必要とする生徒への対応の充実

3 中高一貫教育の充実

- **6年間の計画的・継続的な教育活動の推進**
 - 成果と課題の検証及びそれを踏まえた教育活動の一層の充実
 - 中高一貫教育校としての教育効果をより高めるための、6年間を見通した計画の充実
- **中高一貫教育校の特徴を生かした魅力ある学校づくりの推進**
 - それぞれの県立中高一貫教育校における特色ある教育活動の推進
 - 県内の中高一貫教育校の連携の強化
 - 県立中高一貫教育校に関する積極的な情報発信

4 社会の変化に柔軟に対応し、生徒の多様な能力を伸ばすための学科の改善・充実

各学科の特色を生かし、一人一人の能力・個性の伸長や、個々の進路に応じた学習の深化を図る教育活動を充実させる。

全日制課程における学校規模の適正化と望ましい配置の実現 No. 2

なぜ再編整備が必要ですか

少子化に負けない秋田の教育

生徒数が減少する中であっても、高校生がそれぞれの目標を実現し、社会的・職業的に自立できるよう教育環境を整え、教育の質を高めていく必要があります。「活力に満ちた魅力ある学校」づくりを推進し、我が国やふるさと秋田を支える人材の育成に努めます。

中学校卒業生数の減少



どのような方針で進めますか

- 進学に関する指導体制の充実
 - 各地区の進学の中心校としての役割を担う学校は、一定の学級数を維持することが望ましい。
- 農業と工業の専門教育の充実
 - 農業と工業の専門高校及び農業科や工業科等をもつ高校は、互いに連携しながら産業人材の育成を進める。
 - 農業と工業の中心的な専門高校は一定の学級数を維持することが望ましい。
- 統合等再編整備を進める地区について

魅力ある学校を設置するため、2～3校を発展的に統合して新たに統合校を開校することを基本とする。
- 1学年3学級以下の小規模校について

近隣の学校との統合により、活力に満ちた魅力ある学校づくりを進めることを基本とするが、地域の中学生への影響、通学状況、学科の特質等、全県的な視野から特別な事情がある学校については、地域と連携・協働しながら活力ある教育活動を展開し、特色ある学校づくりを進める。入学者数の減少が著しい状況が続く場合は、下記の基準に沿って対応する。

基準

ア 1学年2学級以下の学校において、入学者数が募集定員の2/3以下の状態が2年間続いた場合、地域校化や募集停止等を検討する。

イ 分校・地域校においては、入学者数が募集定員の1/2以下の状態が2年間続いた場合、募集停止を検討する。

※ なお、上記ア、イは、一律に適用するものではなく、必要に応じて地域の関係者や当該校と、学校の活性化や今後の在り方について協議を行う。

各地区の構想案の概要



関係者との調整を進め、準備が整ったところから順次、事業に着手します。



統合など一定の時間を要する事業については、長期的な展望をもってスケジュールを策定します。

鹿角小坂

鹿角小坂地区統合校

鹿角小坂地区統合校(仮称)は、花輪高校、十和田高校、小坂高校を統合し、地域に根ざした特色のある教育活動を展開するとともに、多様なコースを設定して生徒の進路実現を図り、地域社会や国際社会で活躍できる人材を育成する学校として設置する。

1学年の学級数は6学級、校舎設置場所は現花輪高校敷地とし、令和6年度の開校を予定している。学科は普通科、工業科とする。普通科には生徒の多様な進路希望を踏まえ三つのコースを設置する。工業科は電気・機械・情報について総合的に学び、新しいニーズに対応できる力を育成する。

能代山本

能代科学技術高校

能代科学技術高校(令和3年度開校)は、能代工業高校と能代西高校の統合による、工業科と農業科の二つの大学科で構成した県内初の専門高校である。

技術革新と社会の変化に主体的かつ柔軟に対応できる技術・技能を備えた職業人を育成するために、学科間連携を推進しながら専門性の深化を図る取組を充実させる。

能代高校昼間の部定時制課程

能代高校定時制課程(令和3年度開設)は、ニツ井高校と能代工業高校定時制課程の再編による、「昼間の部」の定時制高校である。校舎は現ニツ井高校校舎を使用し、校舎の呼称を「ニツ井キャンパス」とする。

生徒の多様なニーズに対応したきめ細かな指導により基礎学力の確実な定着を図るとともに、地域をフィールドとした体験的な学びにより、主体的に協働する態度や、地域づくりに参画していく態度を育てる教育活動を充実させる。

男鹿潟上南秋

男鹿地区統合校

男鹿海洋高校と男鹿工業高校を統合し、地域に根ざした特色ある教育活動を通して、地域産業に貢献できる人材育成を目指す学校を男鹿地区に設置する。

1学年の学級数は4～5学級、学科は工業科、水産科等を検討する。一定期間、現在の両校の校舎を使用し(2キャンパス制)、その後については、地域の実情、校舎や施設設備の状況等を考慮して決定する。今後は本計画期間中の開校に向けて具体の検討を進める。

【五城目高校】地元や秋田市からの入学者数が今後も一定数見込めるとともに、全県的に見た学校の配置状況等から特別な事情があることを考慮し、今後もキャリア教育をベースにした指導や地域と連携した教育活動の充実を図る。

由利本荘にかほ

【矢島高校】広い中山間地域を抱えており、教育を受ける機会を整えていくという視点から大きな意味をもっているなど、特別な事情を考慮し、今後も校舎一体型の中高連携校としての先進的な取組や生徒一人一人に応じたきめ細かい教育活動を推進するとともに、コミュニティ・スクールとして地域と連携・協働した取組を一層進める。

一方で、入学者数が減少し続けている現状があり、将来的にも一層小規模校化が進むことが予想されることを踏まえ、並行して地域の関係者や当該校と学校の活性化や今後の在り方について協議を行う。

【仁賀保高校】県境地域に位置しているという地理的な状況から、全県的に見て特別な事情があることを考慮し、今後も地域の資源や機能等を有効に活用しながら、体験と実践を伴った探究的な学習等の充実を図る。併せて今後の生徒数の推移を注視しながら将来の在り方について検討していく。

【地区内6校】地区内の他4校も含めて、地区全体の再編整備の方向性を検討する。

大仙仙北

【西仙北高校】秋田市を含む広域の中学生の進学先の一つとなっていることなど特別な事情があることを考慮し、今後もキャリア教育を基盤とする教育を進める。

一方で、入学者数減少により2学級規模を維持できなくなりつつあることを踏まえ、並行して地域の関係者や当該校と学校の活性化や今後の在り方について協議を行う。

【六郷高校】全県唯一の福祉科を有し、高齢者福祉を支える人材の育成に取り組んでいるなど全県的な視野から特別な事情があることを考慮し、今後もコミュニティ・スクールとして地域と連携した教育活動を推進し、生徒一人一人の進路実現を目指す指導の充実を図る。

【大曲農業高校太田分校】今後も小規模校の利点を生かした指導や、より地域に根ざした教育活動の更なる充実を図る。一方で、地区全体で少子化が進む中で大幅な定員割れが続いていることを踏まえ、並行して地域の関係者や当該校と学校の活性化や今後の在り方について協議を行う。

横手

横手地区統合校

増田高校、雄物川高校、平成高校を統合し、地域社会や国際社会で活躍できる人材を育成する学校を設置する。1学年の学級数は5～6学級とし、設置する学科等については、地域の中学生の志望動向、地域の特色、卒業後の進路の見通し等を踏まえた上で総合的に検討する。今後は地域の声を聞きながら、魅力ある学校の設置に向けた具体の検討を進める。

校舎設置場所についても、地元と協議の上、地域の実情、校舎や施設設備の状況等を考慮して決定する。

【地区内他3校】入学者数減少への対応も含め、将来の在り方について協議を行う。

湯沢雄勝

【羽後高校】中山間地域の生徒の通学や地元の教育・文化における学校の役割等から特別な事情があることを考慮し、今後も、地域と共に歩む学校として教育活動の充実を図る。

一方で、入学者数減少により2学級規模を維持できなくなりつつあることを踏まえ、並行して地域の関係者や当該校と学校の活性化や今後の在り方について協議を行う。

統合等再編整備により活力に満ちた魅力ある学校づくりを進めます